

質問件名 地震などの災害発生への備えを市民とともに

【質問要旨】

東日本大震災から3年半が経ちましたが、最近では大雨による土砂崩れや浸水などもあり、市民の防災への関心は高いまま衰えていないと感じます。地域防災計画も見直され、自治会や各種団体での避難訓練などの防災・減災活動、公民館での講座開催など、さまざまな場面で主に地震を想定した災害時対応や大震災の記憶を忘れないための取り組みが行われています。

いつ起こるか分からない災害について、市民が自らのこととして考え、市と協力しあいながら災害時に備えた準備ができるかを確認するため、以下の質問をします。

- ①避難所運営マニュアル策定の進捗状況は。
- ②避難所運営マニュアルでの女性や子どもへの配慮についてはどのようになるか。
- ③備蓄品について、箱ベッドなど新しい視点で開発された物の導入予定は。
- ④自主防災組織の世帯数など条件緩和後、組織数など状況の変化はあったか。
- ⑤防災について意識啓発や市内の危険箇所発見やマニュアル作成に携わる防災市民協力員のようなしくみをつくり、募集してはどうか。
- ⑥地震や原発事故による避難者の受け入れという視点での備えはできているか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2014年9月1日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【 】

25	24	23	22